

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	もりおか暮らしの便利帳発行事務事業			事業コード	0083
担当課等	所属名	市長公室 広聴広報課	担当係名		
	課長名	市長公室 広聴広報課	担当者名	市長公室 広聴広報課	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	市民とともにつくる行政の実現	コード 3
	基本事業	分かりやすい行政情報の提供	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 2目 市政広報活動事業(005-01)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 昭和53年度～)		
事務事業の概要	市の制度や行政手続き、観光・イベント情報など市勢全般に関する情報を取りまとめた冊子を作成し、全世帯及び転入者へ配布する					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>市政の仕組みや窓口情報を紹介する「盛岡ガイドブック」を昭和53年に発行した以降、転入者向けに毎年3万部、5年に一度全世帯向けに11万部を作成・配布。平成4年の都南村との合併を機にリニューアルを図り、現在の「暮らしの便利帳」の形態をとっている。平成5年には全世帯12万部、平成8年には1万部、その後はおおむね2年ごとに発行。平成20年6月には官民共同事業として全世帯12万5000世帯へ配布後、最新は平成23年4月に全世帯へ配布している</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>2～3年に1回の発行では組織変更などに対応できないので、毎年発行してほしいという意見がある一方で、紙資源の無駄なので全戸配布は必要がないとの意見も寄せられている</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
市ホームページをはじめ多様な情報媒体がある中で、紙媒体で全戸配布が必要かの検討は必要						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	転入世帯と市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 転入世帯(届出件数)	単位	世帯
				B. 市民	単位	人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>22年度実績(22年度に行った主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住所異動の窓口などで転入者へ配布 ・広告を掲載して発行し、全世帯に配布するため、公券を行い業者を選定の上、協定書を締結(選定や締結は平成19年度中) <p>23年度計画(23年度に計画している主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全世帯へ配布 ・住所異動の窓口などで転入者へ配布 	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 印刷部数	単位	部
				B. 訂正表の発行部数	単位	部
				C. 窓口配布部数	単位	部
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	各種の市政情報を紹介し、盛岡での日常生活に役立ててもらおうとともに、盛岡での生活の利便性向上を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 暮らしに役立つ度合い(アンケート) 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	行政が保有している情報を分かりやすく市民に提供する	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	開示請求及び情報提供件数(ホームページ新着情報件数含む)(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	転入世帯(届出件数)	世帯	9,060	8,886	8,886	9000	9000		年度
対象 指標B	市民	人	298,395	297,267	297,267	298,148	298,148		年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	印刷部数	部	160,000	0	0	0	160,000		年度
活動 指標B	訂正表の発行部数	部	0	8,886	8,886	9,000	9,000		年度
活動 指標C	窓口配布部数	部	12,000	8,886	8,886	9,000	9,000		年度
成果 指標A	暮らしに役立つ度合い(アンケート)	%	-	-	-	-	-		年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	0	0	0	0		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	0	0	0	0	0		*****
	延べ業務時間数	時間	200	30	300	450	30		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	800	120	1,200	1,800	120	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	800	120	1,200	1,800	120	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 市民が行政サービスを受けるため、各種手続きを行うためには、窓口案内や市の制度に関する情報は不可欠である
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民生活に密接した情報の提供は市の責務である
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由: より多くの市民へ行政情報などを提供することが事業の趣旨に適合するものの、全戸配布に対する批判もあることから対象を絞るという検討も必要
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民が日常生活を過ごす上で不便を感じないように、必要な情報を提供することが必要である
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 行政情報のほか観光・イベント、病院などの情報を掲載しているが、国や県の組織情報についても掲載することでさらなる利便性が図られる
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 全世界はともかく、新たに盛岡市へ転入してきた人への窓口情報などの提供は必要である
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ほっとページ(介護高齢福祉課)、もりおか子育てブック(児童福祉課)、市民生活便利帳(東洋アドシステム)など ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 市が発行する情報冊子については統廃合が可能。民間発行の冊子については検討が必要
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 平成20年度発行分から官民共同事業の形態により印刷や配布などの経費を広告掲載料で賄っているため、市の持ち出しはない
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 各課の情報を効率的にまとめ、編集時間を減らすように努めることで、人件費の削減は可能
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市政情報の提供は市の責務であり、受益機会は転入者を含む全市民に均等にあるべき
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市政情報の提供は市の責務であり、受益者負担になじまない

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 共同発行事業者との役割分担や全戸配布の是非について検討をする</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 時勢から広告掲載が難しくなっていることもあり、今後の共同事業者との利害調整が必要</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>官民協働事業として編集事務を行った。掲載内容は、市民にとってどんな情報が必要かの観点から、各課で検討した。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>23年度は各戸配布を行うが、前回(平成20年度)のときの配布時の問題点を検証しながら配布を行う。</p>												